

目指せ！図書館マスター

図書館マスターだより

2020年11月
塩尻市立図書館
編集



第5期図書館マスター認定！

図書館マスターって？

4か月全6講座を通じて
本や司書、図書館全体
について学び、司書の
仕事を体験します。

本や図書館のことを知
って、もっと世界を広
げよう！

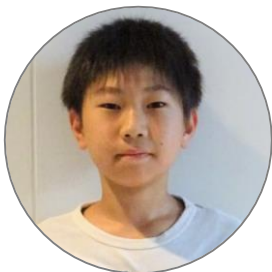
回	日付	テーマ
第1回	7/12(日)	開校式、 図書館の本の並び方
第2回	7/26(日)	カウンターの仕事 本の修理
第3回	8/25(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで①
第4回	9/8(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで②
第5回	9/29(日)	図書館マスターだより おはなし会の練習
第6回	10/13(日)	本番！おはなし会 修了式

- ・図書館マスターの開校式
- ・図書館で働く司書の仕事について



図書館の本は どんなふうにならんでいる？

- ・図書館に本を並べるための分類法「日本十進分類法」を知ろう
- ・本のならび方を理解しよう
- ・実際に本棚へ行って確認しよう



高尾 賢澄

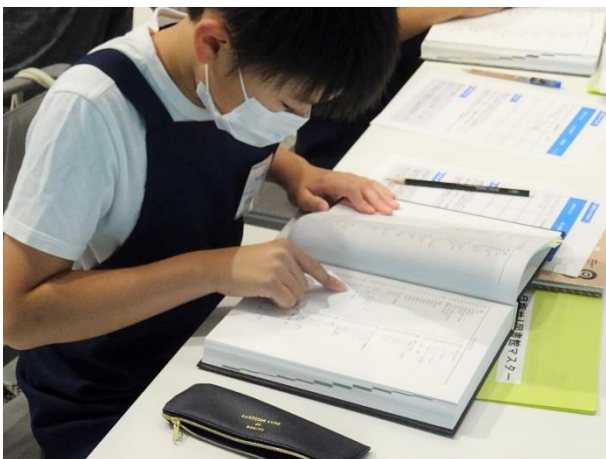
女台めて知った分類法



ぼくは、図書館の本はどんなふうにならんでいる？の回の日本十進分類法を使って本を調べることが心に残っています。

日本十進分類法は、番号は3つに分けられていて、多いときは4つの番号がありました。日本十進分類法は、〇〇の中の〇〇の中の〇とどんどんくわしくしていき、最後にたとえば「567.8」と分かります。

今度図書館に来たら、本を返したらここにもどるんだと分かるようにしたいです。





小林 良佑那

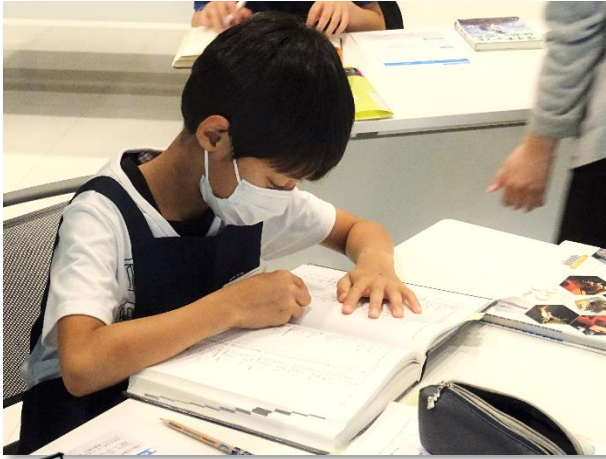
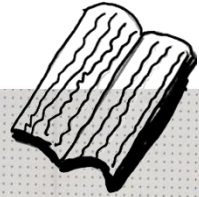


意外とむずかしい 日本十進分類法

ぼくが一番むずかしかったのは本を分類することです。

本にはひとつひとつ分類があることを知りました。日本十進分類法はいろいろ書いてありましたが、それを使ってそれぞれの本がどんな分類の本か調べることができました。また、本には番号がついていて、図書館には同じ分類の本は同じ場所になるのだとあらためて分かりました。

これからは日本十進分類法を使って本を確かめたいと思います。



第2回 7/26

カウンターの仕事と本の修理

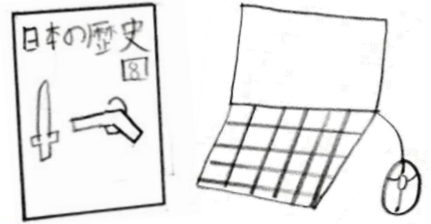
- ・本の仕組みを学び、本の修理方法や取りあつかい方を学ぼう
- ・カウンターの仕事をやってみよう



酒井 陸空

目指せ図書館マスター

カウンターの仕事、本の修理



ぼくが一番むずかしかったのは、カウンターの仕事と本の修理です。

ぼくは、図書館に来たとき毎回カウンターで本を返したり借りたりしているけれど、自分がカウンターの仕事をしてみると意外にむずかしくて、毎日のようにやっている司書さんがすごいと思いました。

本の修理では、本をセロハンテープやのりではりつけるのか、とっていたけどぜんぜんちがいました。専用ののりとかを使っていて、直し方はめんぼうとかで少しずつやっていますすごいと思いました。

これから本を使うときには、大事に使って本をこわさないようにしたいです。



会津 奈都子

いろいろ
知った

カウンターの仕事

わたしは、カウンターの仕事で知ったことがあります。ひとつめは、利用者さんが借りる本を大事にあつかって、正確に読みとることです。いつもの司書さんの気持ちがよく伝わってきました。ふたつめは、笑顔という言葉です。利用者さんの気持ちを考えて、いい笑顔をおくれるようにしました。言葉は、「ありがとうございます」「お返しします」などいい言葉使いを心がけました。この体験が一番印象に残りました。

わたしは、この「目指せ！図書館マスター」で体験したことは、楽しみながらできるので自分的にはいい勉強になったのではないかなと思います。とても楽しかったです。





赤羽 怜奈

とても大変 カウンターの仕事

私が一番思い出に残っているのはカウンターの仕事です。

カウンターでは利用者さんをまたせないようにてきぱきと行動しないとイケませんでした。少しまちがえたり笑顔になれない時があって大変でした。最初、うまくいくなあと思ったけど、予想通りにはできませんでした。こんなに大変な仕事を、司書さんは毎日笑顔でてきぱきとやっていますごいなあ、ということがとても伝わってきました。

司書さんが、がんばって毎日カウンターの仕事をしている、ということのを頭にいれて図書館を利用してみたいです。



三浦 綺莉菜

意外と^{大変}カウンターのお仕事 と修理

私が一番心に残ったのはカウンターの仕事と本の修理です。私は最初カウンターは簡単かと思っていました。でもカウンターに立ってやってみると、きんちょうしてぜんぜん笑顔になれませんでした。しかも、利用者になかなかを向けてしまいました。

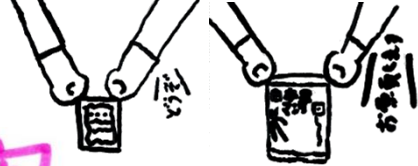
修理は司書の方が本のページがとれちゃったところをのりを使って器用にはっていました。いろんなこわれ方をした本を直して行ってすごかったです。司書の方が時間をかけていしょうけんめい修理しているので、よごしたりこわしたりしないようにしたいです。





丸山 拓夢

大切なお客さん



ぼくが一番心に残ったのは、カウンターの接待です。
 カウンターの接待に必要なことは、笑顔です。笑顔で伝わる声でお礼を言う、ということを知りました。実際にカウンターの体験をして、司書の気持ちがわかったような気がしました。
 これからは、司書さんに「ありがとうございます」とお礼をしっかりとって、司書さんがうれしいなという気持ちになってもらうようにしたいです。



山下 奏衣

去年とは少し違うカウンターの仕事

私が「目指せ！図書館マスター」で一番心に残ったことは、カウンターの仕事です。
 今年は去年と違って、新型コロナウイルスが流行しています。なので、カウンターの仕事もマスクを付けた状態で行いました。そのため、笑顔が大切なカウンターの仕事も、マスクで顔がかくれてしまうので、去年よりも笑顔に気を付けて行いました。もう一つ、新型コロナウイルスの流行のため、返却された本の消毒作業も行いました。利用者の方に安心して本を読んでもらいたいです。
 これからは、本を借りるときなどに、カウンターにいる司書さんに自分からあいさつをしたり、たくさん話したいです。



カウンター体験・本の修理・分類クイズに挑戦！



1冊の本が図書館の本になるまで①

・見計らいと選書会議をして、どの本を買うか
みんなで決めよう



伊藤 里桜



楽しそう!! でも難しい選書会議

選書会議で最後の本の「入れる? いれな
い?」をきめるのにとっても時間がかかりました。

選書会議で十冊の本の中から「この本が読ん
でみたい!」というのと「私は少しにがてか
な」と思う本にわけてやりました。4人グル
ープで、話し合って人気のある本からきめるこ
とにしました。約八冊の本をきめて最後の本をえ
らぶことにしましたが、最後の本は好ききらい
がわかれてしまいなかなか決まらず、みんな
で話し合って予算内で決められました。

本をえらぶときは、予算の中できめなくては
いけないのでとてもこまったけれど、いい本を
図書館にいれることができたので、とても楽し
くていい経験になりました。



三沢 楓菜



自分のえらんだ本がならぶ!?

私が一番むずかしかったのは、選書会議です。
本屋さんからとどいたほんを、本だになら
べる仕事をしました。本屋さんからとどいた本
を全て買うことはできないので、使えるお金に
おさまるように会議をしました。ほかの人と意
見がちがうと、理由を考えて「なぜこの本がい
いか」を言ってせつとくさせなければいけ
ないのでむずかしかったです。

このようにして1冊の本は、1週間かけて図書
館にならぶことが分かりました。新刊本がどう
して選ばれたかを考えてみたいです。





巢山 真里菜

むずかしいけど おもしろい!!

★選書会議★



わたしが特に楽しかったのは、選書会議です。図書館マスターをやるまでは、本をどのように買ったり決めたりするのか、全く知りませんでした。

選書会議ではグループに分かれて買う本を決めました。予算は1万円でした。実際に本を読んでみて買うか買わないかを決めました。かんたんそうだなと思ってましたが、やってみるととてもむずかしいことが分かりました。わたしのグループでは、9,250円で6冊の本を買いました。買わなかった本もありましたが、いい選書会議ができたなと思いました。



1冊の本が図書館の本になるまで②

- ・買うことになった本の「装備」をしよう
- ・ラベルをはってブッカーをかけよう
- ・本の登録と研修をして棚にならべよう



伊藤 美結

難しいけど 大事な 本の 装備

私が一番むずかしいと思ったのは、本の装備です。本にブッカーをかけるのは、水にぬれたり日光で色が落ちにくくするためだと知りました。実際に選書会議で選んだ本にラベルをはって、ブッカーをかけました。

ブッカーをかける時に空気が入ってしまって大変だったけど、空気が入らないようにバンダナでこするのが楽しかったです。

ブッカーをかけるのはとてもむずかしいけれど、本の装備は大事な仕事です。私も友達に、「図書館の本は司書さんが1冊ずついいないに装備をしているんだよ」と教えたいです。



塩原 那々実

たくさん読んで
もらうための仕事

装備

ブッカーかけ



私は、すべての仕事が大変な図書館の仕事の中でも、装備、つまりブッカーかけが大切ではないかと思えます。

ブッカーとは本をよごれや日焼けから守るカバーみたいなものです。図書館の本は装備をするから長くもつし、読む時に表紙のカバーがペラペラしないのはブッカーがあるからです。もうひとつ装備で大切なのは背ラベルとバーコードです。背ラベルはこれがあるから分類されているたなにもどす事ができて、バーコードは図書館に登録されているためどろぼうはできないようになっています。

これらの事から私は本を図書館に並べるために、装備はとても大切な仕事だと思うのです。





選書会議で選んだ本を、ひとり1冊ずつ装備しました！

上手に出来たかな？ 装備・登録・検収した新しい本は、さっそく利用者さんに借りられていました。

図書館マスターだよりを作ろう

- ・図書館で発行しているおたよりから「広報」の大切さを知ろう
- ・これまで学んできた講座をふりかえって、マスターだよりの記事を書こう

おはなし会の準備

- ・土曜のおはなし会にむけて練習！

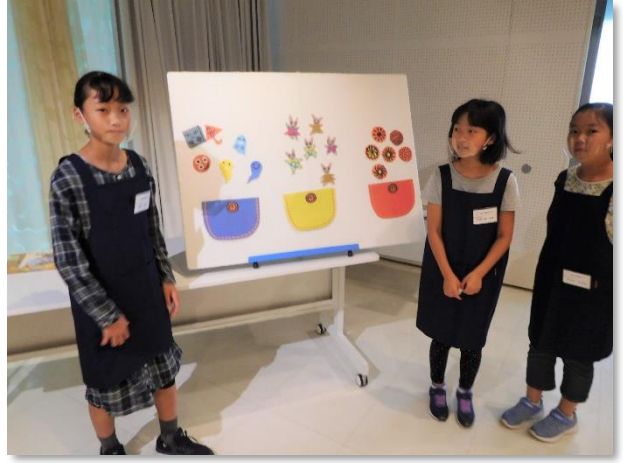




本番！土曜のおはなし会

1. はじまるよ (手遊び) 全員
2. おにぎりくん、たまごやきくん、からあげくん (絵本) 巢山 真里菜、三浦 綺莉菜
3. カラスのおやこ (ペープサート) 伊藤 美結、伊藤 里桜、山下 奏衣
4. とんとんとん (大型絵本) 酒井 陸空、塩原 那々実、丸山 拓夢
5. ふしぎなポケット (パネルシアター) 会津 奈都子、赤羽 怜奈、三沢 楓菜
6. これなあに (パネルシアター) 小林 良佑那、高尾 賢澄
7. さよならあんころもち (手遊び) 全員

本番前にリハーサルをしました。お客さんはたくさん来てくれるかな？



おはなし会は大盛り上がり！



修了式

・図書館マスター認定証交付



図書館マスター5期生の皆さん、7月の開校式から4か月間にわたる受講お疲れさまでした。「これからもたくさん本を読んでいきたい」「本を読む楽しさ、図書館の面白さを友達にも広めたい」「司書の仕事は、正確さと笑顔が大事だと思った」「本をよごしたり、こわしたりしないようにしたい」など、修了式でみなさんが笑顔で語ってくれた感想を聞いてとてもうれしく思いました。

たくさんの本との出会いは、皆さんのこれからの人生を確かで豊かなものにしてくれます。目指せ！図書館マスターでの学びや体験を大切にしていってください。

図書館長 上條史生